



OpenLab ChemStation LTS 01.11

リリースノートおよび更新履歴



注意

マニュアル番号

D0013760ja

エディション 2022 年 8 月

著作権

© Agilent Technologies, Inc. 2010 – 2020, 2022

本マニュアルの内容は米国著作権法および国際著作権法によって保護されており、Agilent Technologies, Inc. の書面による事前の許可なく、本書の一部または全部を複製することはいかなる形態や方法（電子媒体への保存やデータの抽出または他国語への翻訳など）によっても禁止されています。

Agilent Technologies, Inc.

5301 Stevens Creek Blvd.

Santa Clara, CA 95051

USA

ソフトウェアリビジョン

このガイドは改訂版が作成されるまで、Agilent OpenLab ChemStation LTS 01.11 に対応しています。

保証

このマニュアルの内容は「現状有姿」提供されるものであり、将来の改訂版で予告なく変更されることがあります。

Agilent は、法律上許容される最大限の範囲で、このマニュアルおよびこのマニュアルに含まれるいかなる情報に関しても、明示黙示を問わず、商品性の保証や特定目的適合性の保証を含むいかなる保証も行いません。Agilent は、このマニュアルまたはこのマニュアルに記載されている情報の提供、使用または実行に関連して生じた過誤、付随的損害あるいは間接的損害に対する責任を一切負いません。Agilent とお客様の間に書面による別の契約があり、このマニュアルの内容に対する保証条項がここに記載されている条件と矛盾する場合は、別に合意された契約の保証条項が適用されます。

技術ライセンス

本書で扱っているハードウェアおよびソフトウェアは、ライセンスに基づき提供されており、それらのライセンス条項に従う場合のみ使用または複製することができます。

権利の制限

米国政府の制限付き権利について: 連邦政府に付与されるソフトウェアおよび技術データに係る権利は、エンドユーザーのお客様に通例提供されている権利に限定されています。Agilent は、ソフトウェアおよび技術データに係る通例の本商用ライセンスを、FAR 12.211 (Technical Data) および 12.212 (Computer Software)、並びに、国防総省に対しては、DFARS 252.227-7015 (Technical Data -Commercial Items) および DFARS 227.7202-3 (Rights in Commercial Computer Software or Computer Software Documentation) の規定に従い提供します。

安全にご使用いただくために

注意

注意は、取り扱い上、危険があることを示します。正しく実行しなかったり、指示を遵守しないと、製品の破損や重要なデータの損失に至るおそれのある操作手順や行為に対する注意を促すマークです。指示された条件を十分に理解し、条件が満たされるまで、注意を無視して先に進んではなりません。

警告

警告は、取り扱い上、危険があることを示します。正しく実行しなかったり、指示を遵守しないと、人身への傷害または死亡に至るおそれのある操作手順や行為に対する注意を促すマークです。指示された条件を十分に理解し、条件が満たされるまで、警告を無視して先に進んではなりません。

目次

目次

1	一般情報	12
	規制環境でソフトウェアをご使用のお客様へ	12
2	OpenLab ChemStation LTS 01.11	13
	互換性およびインフラストラクチャサポートの更新	13
	ブランディングの更新	13
	ChemStation インストーラ	13
	データの完全性とセキュリティを強化	14
	ssizip ファイル用の整合性チェックを追加	14
	CSI ユーザーのデフォルトのパスワードの長さを AIC では 20 から 64 文字に増加	14
	受信通信チャンネルの無効化が可能 (ChemStation 管理ツール経由)	14
	取込	14
	[サンプル情報] ダイアログを拡張	15
	シングルランで注入ソースを変更	15
	オーバーラップ注入をランキューでサポート	15
	ランキューを強化：ランキューでカスタムコマンドを使用	15
	バーコードワークフローを拡張	16
	シーケンス：インポートできるサンプル数を増加	16
	シーケンス：[ターゲットマス] の上限値を増加	16
	CE 機器でのシーケンス待ち時間の問題を解決	16
	データ解析 および レポート	16
	新しいタイム積分イベント「ピーク高さの更新」	16

目次

ドライバーの更新	17
3 OpenLab CDS ChemStation Edition C.01.10	18
OpenLab ChemStation C.01.10 Update 3	18
OpenLab ポートフォリオサポートの更新	18
OpenLab ChemStation C.01.10、Update 1、2 を含む	18
OpenLab ポートフォリオサポートの更新	18
一般的な UI の改善点	18
Shares Services / Control Panel バージョン 3.2	18
Secure Workstation for OpenLab CDS ChemStation Edition	19
インテリジェントレポートの更新	19
最新の Agilent 機器ドライバーバージョンを搭載	19
Agilent LC および CE の更新	20
Agilent GC の更新	20
Agilent Micro GC	20
Allotrope	20
ADFExport プラグイン	21
新しいスプラッシュ画面とショートカットアイコン	21
新しいユーザー情報プラットフォーム「User Resources & Learning」	21
4 OpenLab CDS ChemStation Edition C.01.09	22
OpenLab Control Panel での機器概要が改善	22
ファイルシステムへの高速アクセス	22
Allotrope	23
結果セットファイル構造の実施	23
OpenLab ChemStation LTS 01.11 リリースノートおよび更新履歴	4

目次

ランキューおよびスケジューラ用のカスタムコマンド	23
OpenLab ポートフォリオサポートの更新	24
オペレーティングシステムサポート	24
インストールメディアで提供のサードパーティソフトウェア	24
Agilent LC および CE の更新	24
Agilent LC/MS の更新	25
分取 LC	25
Agilent GC の更新	26
AIC でコンフィグレーション可能な機器台数を増加	26
マニュアル積分を強化	26
インテリジェントレポート	26
5 OpenLAB CDS ChemStation Edition C.01.08	27
インストールパスの変更	27
インフラストラクチャサポートの変更	27
オペレーティングシステムサポート	27
ソフトウェア要件（インストールメディアで提供）	27
OpenLAB コントロールパネル	27
ユーザーインターフェイスの更新	28
クラシックドライバ	28
Agilent LC および CE の更新	28
分取 LC	29
Agilent GC の更新	29
インテリジェントレポート	30
M8370AA OpenLAB Data Analysis	30
Secure Workstation for OpenLab CDS ChemStation Edition	30
OpenLab ChemStation LTS 01.11 リリースノートおよび更新履歴	5

目次

6	OpenLAB ChemStation Edition C.01.07 SR4	31
	ソフトウェア品質の修正	31
7	OpenLAB ChemStation Edition C.01.07 SR3	32
	インフラストラクチャサポートの変更	32
	オペレーティングシステムサポート	32
	データベースサポートの追加	32
	ソフトウェア要件（インストールメディアで提供）	32
	OpenLAB Control Panel 2.1	33
	OpenLAB CDS Shared Services	34
	データ取込	34
	Agilent LC および CE の更新	34
	フラクシヨンコレクションの自動化	35
	Agilent GC の更新	35
	コンプライアンス機能の強化	35
	インテリジェントレポート	35
	M8370AA OpenLAB Data Analysis	36
	Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition	36
8	OpenLAB ChemStation Edition C.01.07 SR2	37
	インフラストラクチャサポートの変更	37
	データ解析	37
	Agilent LC および CE の更新	37
	Agilent GC の更新	38
	サードパーティ製の機器コントロールドライバ	38
	Agilent 35900E RC.Net コントロールドライバが使用可能	38

目次

コンプライアンス機能の強化	38
セキュアファイル IO を用いた ChemStation ファイルの保護	38
シーケンス監査証跡	39
中央記憶領域およびキュー管理へのデータ転送の通知を改善	39
Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition	39
9 OpenLAB ChemStation Edition C.01.07 SR1	40
データファイル名を作成するときのパターン	40
インテリジェントレポート	40
ECM/Data Store データパスでの <ユーザー名> トークンの使用	40
10 OpenLAB ChemStation Edition C.01.07	41
Agilent LC/CE RC.NET ドライバの更新（バージョン A.02.10）、 ドライバ A.02.11 のサポート（後日リリース）	41
Agilent GC ドライバインストールパッケージ A.02.05 の更新	41
新しいグラフィカルサンプルエントリ（LC のみ）	41
新しい OpenLAB CDS VL 製品のオプション	41
データベースサポートの追加	41
オペレーティングシステムサポート	42
OpenLAB Control Panel	42
GC クラシックドライバー	42
その他の機能	42
11 OpenLAB ChemStation Edition C.01.06	43
ライセンス	43
新製品のオプション	43
オペレーティングシステムサポート	43

目次

M8620AA OpenLAB Data Store ソフトウェア A.02.01	43
OpenLAB CDS Shared Services	44
OpenLAB CDS インストール	44
M8370AA OpenLAB Data Analysis A.01.02	44
（新） M8313AA Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition	44
新しいソフトウェア ベリフィケーション ツール	44
メソッドおよびシーケンス	44
シーケンステーブルのユーザーインターフェイスの新しいレイ アウト	44
ランキュー	45
実行中のシーケンスの編集	45
OpenLAB CDS のアップグレード	45
78xx および 68xx の def_gc.m が書き込み可能に	45
インテリジェントレポートの強化	46
ルールとアラートの管理	46
GC のバーコード読み取りを強化	46
Agilent 78xx GC ドライバの更新 (バージョン 5.03)	47
Agilent LC および CE ドライバ (RC.NET ドライバ A.02.09) の更新	47
Agilent 68xx GC ドライバの更新 (バージョン 6.23)	47
GC クラシックドライバーのサポート終了	48
ヘルプの「バージョン情報」ボックスで製品および機器ドライバの バージョンを表示	48
12 OpenLAB ChemStation Edition C.01.05	49
メソッドおよびシーケンス	49
データ解析	49

目次

シングルサンプルのデータ解析ワークフロー	49
前回の結果モード	49
再計算モード	49
レポート	50
インテリジェントレポートの強化点	50
クロマトグラムを表示または印刷	50
インテリジェントレポートのプレビュー	50
Agilent 78xx GC ドライバの更新 (バージョン 5.01)	50
リソースの管理機能 (7890B)	51
EMF (Early Maintenance Feedback) (7890B)	51
バーコードスキャン (7890B)	51
Agilent Parts Finder	51
Agilent LC ドライバ (RC.NET ドライバ A.02.07) の更新	52
Agilent 68xx GC ドライバの更新 (バージョン 6.21) (2013 年 8 月にリリース)	52
サードパーティのドライバ: Waters Acquity のサポート	52
5890 シリーズ II GC は使用可能だがサポートしない	53
M8620AA OpenLAB Data Store A.01.02	53
サンプルリクエスト	53
ラボジャーナル	53
M8370AA OpenLAB データ解析 A.01.01 (新規)	54
13 OpenLAB ChemStation Edition C.01.04	55
OpenLAB Data Store A.01.01 CDS サポート	55
マスターインストーラの更新	55
OpenLab コントロールパネル/Shared Services の更新	56
Intelligent Reporting Report テンプレートエディタ (RTE) の更新	56
OpenLab ChemStation LTS 01.11 リリースノートおよび更新履歴	9

目次

メソッドおよびシーケンスキュー	56
機器の起動におけるメソッドのダウンロードオプション	56
データ解析の改善	56
Agilent LC ドライバの更新	57
Agilent 78xx および 68xx GC ドライバの更新	57
OpenLAB ドキュメントおよびマニュアルにアクセスするための新しい HTML ページ	57
14 OpenLAB ChemStation Edition C.01.03	58
シーケンスプラン	58
更新された Agilent LC ドライバ	58
Agilent GC ドライバの更新	58
78xx ドライババージョン 4.02[023]	58
68xx ドライババージョン 6.11[008]	58
新しい G3581A 490 マイクロ GC のサポート	58
15 OpenLAB ChemStation Edition C.01.02	59
Agilent OpenLAB ECM の接続性	59
マスターインストーラの更新	59
ワークステーションおよびネットワークワークステーションでの、 LC/MS および CE/MS のサポート	60
新規トポロジー：	60
分散システム (ネットワーク AIC およびクライアント)	60
Agilent GC ドライバの更新、78xx バージョン 4.01、68xx バージョン 6.10	60
Agilent サポート情報	61

目次

16	OpenLAB ChemStation Edition C.01.01	62
	インテリジェントレポート	62
	OpenLAB Control Panel / OpenLAB Shared Services	62
	新しいライセンス	63
	新規データ解析ワークフロー	63
17	重要なサポート情報	64

このドキュメントでは、Agilent クロマトデータシステム製品 OpenLab ChemStation の各マイナー リリースの主な変更点を記載します。

規制環境でソフトウェアをご使用のお客様へ

Agilent のソフトウェアを更新・変更する場合に必要となる、ソフトウェアの再バリデーション等についてはお客様の責任において実施してください。

ソフトウェアの更新・変更時には、個別の変更内容に対する検証だけでなく、ソフトウェアシステム全体における更新の範囲とその影響を分析し、検証を行う必要があります。

2 OpenLab ChemStation LTS 01.11

互換性およびインフラストラクチャサポートの更新

詳細については、『OpenLab ChemStation ハードウェアとソフトウェア要件』を参照してください。

Shared Services サーバーバージョン 3.4、3.5 および 3.6 は互換性があります。

以下のサポートを追加：

- Windows 11（64 ビット）：21H2（Enterprise または Professional）
- Windows 10（64 ビット）：21H2 以降（Enterprise または Professional）
- PostgreSQL 14.1（Shared Services、Content Management、およびデータリポジトリ）
- Adobe Reader 2020

以下のサポートを削除

- Secure ChemStation Workstation のトポロジー
- Windows 10 21H1 以前
- Windows 7 SP1（64 ビット）
- ChemStation AIC のみ： Windows Server 2016、2012
- Oracle 18C、SQL 2014
- Internet Explorer 11

ブランディングの更新

- SW およびドキュメント全体を通して新しい OpenLab ChemStation のブランディング/製品名を導入
- 起動アイコン、スプラッシュ画面、およびログイン画面を更新

ChemStation インストーラ

- Site Preparation Tool を OpenLab CDS System Preparation Tool に置き換え
- Agilent OpenLab Reverse Proxy コンポーネントをサポート

データの完全性とセキュリティを強化

ssizip ファイル用の整合性チェックを追加

- ChemStation アプリケーション以外から現在の結果セット SSIZIP ファイルへの変更はダウンロード時に検出され、Shared Services アクティビティログに警告が表示されます。
- シングルランの場合、run.log に警告が表示されます。
- シーケンス結果セットの場合、シーケンスログブックに警告が表示されます。

CSI ユーザーのデフォルトのパスワードの長さを AIC では 20 から 64 文字に増加

受信通信チャンネルの無効化が可能 (ChemStation 管理ツール経由)

- 設定で受信通信チャンネルを無効にします。これにより外部からの ChemStation インスタンスへの接続を防止します。オートメーションコントロールパネルコマンドは完全な機能を維持します。
- 設定を変更すると、予測される動作を示すにはすべての ChemStation インスタンスを再起動する必要があります。

取込

ランシーケンスを個別のシングルランとして実行するための新しいオプション

- 新しいシーケンス実行モード、個別のシングルランは、ChemStation の「プレファレンスで有効にできます。ChemStation C.01.09 以前で利用可能な「ユニークなフォルダ作成オフ」を置き換えています。

注記： ChemStation プレファレンスの変更には、特別なユーザー権限が必要です。

- 「個別のシングルラン」を選択すると、シーケンステーブルの各行が独立したサンプルランとして処理され、編集が容易にできるようになります。キューに追加されたシングルランはランキューに表示され、編集機能を使用してレビューまたは変更できます。
- ランキューは、シーケンスランによって作成される結果セットによって得られるシーケンスデータの整合性を維持しません。ファイルシステム内のシングルラン用のデータファイル (.D) のみ作成されます。
- マスターメソッドとシーケンステンプレートは、取り込まれたデータと一緒に保存されません。自動のメソッド変更（リキャリブレーションなど）はマスターメソッドに直接適用されます。

- データファイル名は、[デフォルトのデータファイル名のパターン] フィールドで指定された定義に従います。
- 制限事項：
 - ブラケットキャリブレーションのあるシーケンスは、個別のシングルランに変換できません。
 - シーケンスサマリレポートで自動シーケンスサマリは出力されません。

[サンプル情報] ダイアログを拡張

- [サンプル情報] からのメソッドランでは、キャリブレーションラン、バーコード、LIMS ID、エラーメソッド、CE 情報の追加をサポートします。シーケンステーブルで利用可能なすべてのフィールドが [サンプル情報] ダイアログでも利用できます。

シングルランで注入ソースを変更

- 注入ソースロケーションを上書きする機能が [サンプル情報] ダイアログで利用できます。
- インジェクタが 2 つある場合、ユーザーは注入ロケーションを以下から選択できます。
 - メソッドと同期
 - サンプラにより提供された注入ソース

オーバーラップ注入をランキューでサポート

- ランキューに追加されたシングルランは、オーバーラップ注入機能（シーケンスと同じ）をサポートします。

ランキューを強化：ランキューでカスタムコマンドを使用

- ランキューが空で、機器が待機中のときにカスタムコマンドを実行するオプション。アクティブキュー内の最後のアイテムが完了した後に、定義済みのカスタムコマンドが実行されます。

バーコードワークフローを拡張

- シングルランでバーコードの読み取りをサポートします。
- [シーケンス] および [サンプル情報] の新しい [リファレンスフィールド] と [リファレンスフィールドにバーコードを入力] : ランまたはシーケンスの実行中に、バーコード読み取るか、選択したフィールドに書き込まれます。
オプション：
 - 読み取られたバーコードはリファレンスフィールドと比較されます。一致しない場合、ランを停止または続行できます。
 - 読み取られたバーコードはリファレンスフィールドに書き込まれます。
- バーコードワークフローでは、バーコード読み取り用のリファレンスフィールドとして、サンプル名に加えて LIMS ID の使用をサポートします。バーコードは他のデータシステムへのリンクに使用できます。

シーケンス：インポートできるサンプル数を増加

- [シーケンス] > [インポート サンプル...] 機能の制限が、シーケンステーブルの制限と同じ 1999 行に引き上げられました。

シーケンス：[ターゲットマス] の上限値を増加

- [サンプル情報] および [シーケンステーブル] ダイアログの [ターゲットマス] の上限値が増加され、100,000 を超える値の入力が可能です。

CE 機器でのシーケンス待ち時間の問題を解決

- 待ち時間を指定した場合、メソッドが変更された場合のみシーケンス ラインの後に実行されます。

データ解析 および レポート

新しいタイム積分イベント「ピーク高さの更新」

- この新しいイベントは、インテグレータが最も高いデータポイントをピーク高さとして使用するよう強制します。このイベント（デフォルト）を使用しないと、補間されたピークカーブの最大値を使用してシグナルノイズの影響が低減されます。
- イベントは常にクロマトグラム全体に影響します。

ドライバーの更新

OpenLab ChemStation と一緒に自動的にインストールされる Agilent 機器ドライバーパッケージ：

RC.NET 機器ドライバー	ドライバーソフトウェア リビジョン
Agilent LC & CE	3.5
Agilent ELSD	1.8
Agilent GC	3.7
Agilent Micro GC	2.3
Agilent 35900E A/D コンバータ	2.3

MS ファームウェアツールが 3.02.52 に更新されました。

3 OpenLab CDS ChemStation Edition C.01.10

OpenLab ChemStation C.01.10 Update 3

OpenLab ポートフォリオサポートの更新

Windows Server 2019 のサポートを追加

現在の Agilent 機器ドライバーのサポート

OpenLab ChemStation C.01.10、Update 1、2 を含む

OpenLab ポートフォリオサポートの更新

OpenLab CDS Shared Services Server v.3.2、および OpenLab Server / ECM XT v 2.4 が、OpenLab CDS ChemStation C.01.10 ネットワークおよび分散システムで Microsoft Windows Server 2016 をサポートするようになりました。

一般的な UI の改善点

- ランキューのステータスをツールバーに表示
- シーケンス実行中のオプションでマスターメソッドの更新
- Content Management システムから直接レビューモードで結果セットを読み込んでレポートを作成
- シーケンス再処理用の「一時停止」機能を廃止

Shares Services / Control Panel バージョン 3.2

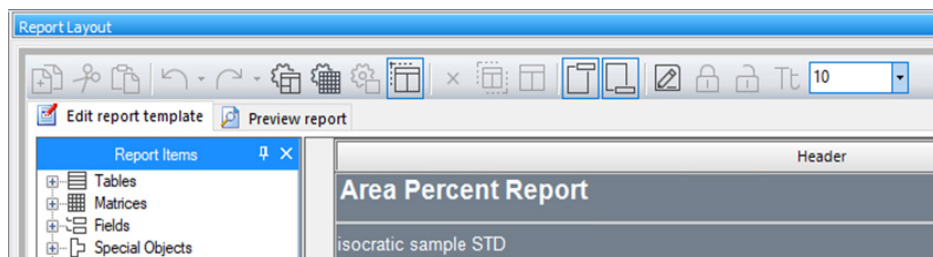
機器の新しいセッションロックステータス記号を OpenLab Control Panel に表示

Secure Workstation for OpenLab CDS ChemStation Edition

Secure Workstation for OpenLab CDS ChemStation Edition で、OpenLab Server 2.4 をセキュアストレージとして使用

インテリジェントレポートの更新

- 新しいアイコンとスタイル



- ビルトインテンプレートを更新
- Secure PDF、PDF/A-1b、CSV、XLSX および DOCX 形式のエクスポートをサポート
- 一部のレポートアイテムのフォントタイプとサイズを変更
- 式エディタを改善
- カスタムアセンブリとコードをサポート
- 不要なスペースを減らし、改ページを削減
- グラフィックを強化
- ドリルダウンレポートのサポート終了
- プレビューモードを統一

最新の Agilent 機器ドライバーバージョンを搭載

User Resources & Learning プラットフォームから入手可能なドキュメント [ドライバーのリビジョン](#) を参照してください（[管理] > [コンフィグレーション] タブ）。

Agilent LC および CE の更新

1290 Infinity II 分取 Open-Bed サンプラ / コレクタ

以下のサンプリング機能を備えた LC フラクションコレクタをサポート：

- サンプル、採取済みフラクションと採取容量、禁止ロケーション、保留中のサンプルなどを表示するオンラインサンプルダイアグラム
- 再注入ワークフロー
- サンプルのグラフィカルエントリと使用したロケーションを表示するフラクション開始ロケーション

大規模 LC コンフィグレーション用のリソース最適化モード

このモードでは、オンライン機器がリソースを保存できるように、レポートレイアウトビューとレビュービューを無効にします。

機器ダッシュボードパネル：

最新の機器エラーおよび警告がダッシュボードの通知バーに表示されるようになりました。

Agilent GC の更新

以下のサポートを追加：

- Agilent 8890 GC
- Agilent 8860 GC

Agilent Micro GC

- マイクロ GC システム機器用の新しいタイプ
- Agilent 990 マイクロ GC のサポートを追加

Allotrope

ADFExport 機能をコアソフトウェアから削除

ADExport プラグイン

C.01.10 以降、Allotrope Data Export を独立した製品アドオンとして採用

ADExport プラグインのインストールパッケージは SubscribeNet 経由でダウンロードでき、OpenLab 追加ソフトウェアとドライバーの ChemStation インストールウィザードを使用してインストールできます。

新しいスプラッシュ画面とショートカットアイコン

スプラッシュ画面とショートカットアイコンのデザインが Agilent の新しいブランディングを反映するよう変更されています。新しいアイコンは ChemStation の新規インストールでのみ利用できます。

新しいユーザー情報プラットフォーム「User Resources & Learning」

レポートテンプレートエディタ（RTE）オンラインヘルプを含め、すべての OpenLab CDS ChemStation Edition のユーザーリソースおよび e ラーニングモジュールへのアクセスを提供します。

Documentation and Learning には、Windows [スタート] > [Agilent Technologies] から、また ChemStation インストールメディアの Disk1¥Docs welcome.htm ページからアクセスできます。

注記

ソフトウェアのインストール時に [e-Familiarization をインストール] をオンにした場合のみ、e ラーニングモジュールがローカルで使用可能になります。

ソフトウェアのインストール時に e ラーニングモジュールをインストールしなかった場合、USB メディアから以下のようにマニュアルでコピーできます。

1. ChemStation USB メディアから： フォルダ ¥Disk1¥Docs¥en¥eFam（日本語の場合、¥Disk1¥Docs¥ja¥eFam）をコピーします。
2. ラーニングモジュールにアクセスする PC 上で： コピーした「eFam」のフォルダを C:¥Program Files (x86)¥Agilent Technologies¥OpenLab User Documentation¥Docs¥en（日本語の場合、C:¥Program Files (x86)¥Agilent Technologies¥OpenLab User Documentation¥Docs¥ja）に貼り付けます。

注記

コピー先の PC で管理者権限を持っている必要があります。

4 OpenLab CDS ChemStation Edition C.01.09

OpenLab Control Panel での機器概要が改善

OpenLab CDS ChemStation C.01.07 SR3 で導入された OpenLab Control Panel は、Agilent 標準のユーザーインターフェーススタイルを使用しています。

ユーザー定義ロケーションでも機器概要が使用可能になり、機器テーブルは、ステータス、機器コントローラ、使用者などで並べ替えができます。接続されていない機器は、空のアイコンで表示され、表示設定を向上しています。

The screenshot displays the OpenLab Control Panel interface for the B23 1st Floor. The top navigation bar includes options like 'Create', 'Edit Location', 'Delete Location', 'Refresh All', 'Edit Privileges', and 'Edit Columns'. The main area shows a table of instruments with columns for Status, Name, Run Status, Current Sample, Used By, Type, Controller, and Description. The table lists three instruments: 3 GC 7890, 1220 LC, and 1 LC MS. The bottom status bar indicates the current user is 'User A' and the startup license has 50 days remaining.

Status	Name	Run Status	Current Sample	Used By	Type	Controller	Description
▶	3 GC 7890			User B	Agilent GC System	VM-WADTST002	
▶	1220 LC	1/1	1	User A	Agilent 1220 LC System	VM-WADTST002	
▶	1 LC MS			User A	Agilent LC/MS System	VM-WADTST002	

ファイルシステムへの高速アクセス

新しいメニュー項目によって、Windows エクスプローラーで表示される機器固有のデータディレクトリへの素早いアクセスが可能です。セキュアファイル I/O をオンにすると、ファイルアクセスは読み取り専用になります。

Allotrope

OpenLab CDS ChemStation C.01.09 からのファイルエクスポート用に、Allotrope Data Format (ADF) が使用可能になりました。（英語版のみ）これは、生データ、結果およびクロマトグラムを保存するための汎用データ形式です。

付加価値および品質に関しての利点は以下のとおりです。

- データの完全性が向上
- 手作業が減少
- 紙ベースの作業が減少
- データの検索、共有、利用およびアーカイブ機能が向上

ADF 形式のファイルは、Allotrope Explorer によって CDS ツールから個別に表示できます。

ADF-Export Basic バージョンは[研究専用](#)で、データ説明のメタデータは利用できません。

結果セットファイル構造の実施

OpenLab CDS ChemStation のリビジョン C.01.09 では、結果セットファイル構造のみを使用マスターメソッドとシーケンス テンプレートのコピーが常に結果と一緒に保存されます。

ユニークなフォルダー作成のプレファレンスを「オフ」に設定できなくなりました。

ランキューおよびスケジューラ用のカスタムコマンド

カスタムアクションを実行するための新しいメカニズムによって、オペレータが使用する機器固有のコマンドやグローバルコマンドを、権限を持つユーザーが定義および変更できます。

ビルトイン デフォルトコマンドセットを、ユーザーはカスタマイズできます。カスタムコマンドをランキューや ChemStation スケジューラに入力できるようになりました。このツールを使用して、自動に機器を準備したり、ランキューのすべてのアイテムが実行された後に機器をシャットダウンしたりできます。

OpenLab ポートフォリオサポートの更新

- OpenLab CDS Shared Services Server v.2.3 が、OpenLab CDS ChemStation C.01.09 ネットワークおよび分散システムで Microsoft Windows Server 2016 をサポートするようになりました。
- 混在環境- OpenLab CDS を OpenLab CDS ChemStation のリビジョン C.01.09 および OpenLab Server 2.2 または 2.3 バックエンドと一緒に使用可能
- Secure Workstation for OpenLab CDS ChemStation Edition では、OpenLab Server 2.3 をセキュアストレージとして使用
- OpenLab Server 2.3、OpenLab ECM XT リビジョン 2.3 および OpenLAB ECM 3.5 HF05（ECM は、英語版システムのみ）をサポート
- OpenLab CDS Shared Services Server 2.3 および 2.2 をサポート
- OpenLab Server 2.1 および OpenLab CDS Shared Services Server 2.1 のサポートを終了

オペレーティングシステムサポート

Agilent 機器コントローラ（AIC）用として Windows 2016 server をサポート

サポートされるオペレーティングシステムの詳細については、

Disk1¥Docs¥JPN フォルダにある『OpenLab CDS ChemStation Edition 要件』ガイド (CDS_requirements.pdf) に記載しています。

インストールメディアで提供のサードパーティソフトウェア

MSD 機器コントロールに必要な Keysight Technologies I/O ライブラリ

Agilent LC および CE の更新

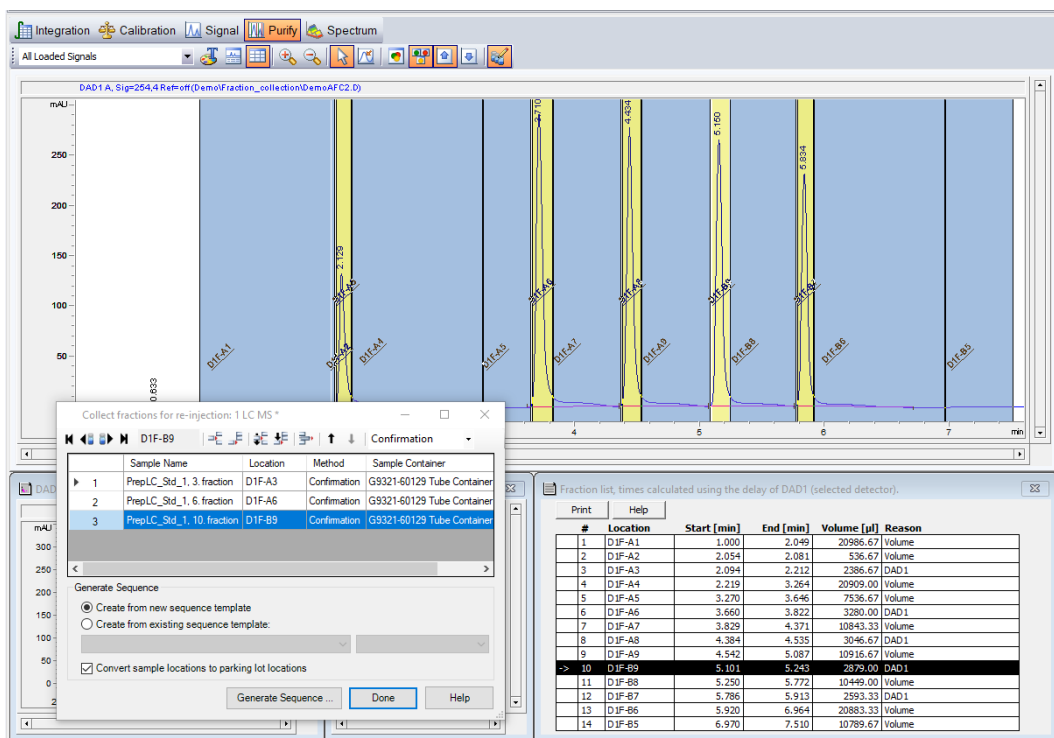
Agilent LC/CE RC.Net ドライバーバージョン A.02.19 を搭載

Agilent LC/MS の更新

- MSD チューンファイルを保存するための新しいフォルダー構造（セキュアファイル I/O）を使用してチューン ファイルの削除を防止
- リビジョン C.01.09 では G6125B MSD 機器用の高速極性スイッチングモードをサポート

分取 LC

- コンファメーションアナリシス（確認分析）の新しいワークフロー。分析スケールの LC において、採取したフラクションに対してのコンファメーションアナリシス（確認分析）をインタラクティブに選択



- データ解析ビューの純度タスクにおける UV および MS スペクトル表示
- カスタマイズ可能なフラクション注釈により読みやすさを向上
- UV トリガー フラクションコレクション用の新しいデモデータ

Agilent GC の更新

Agilent GC ドライバーバージョン B.01.04 を搭載

- Early Maintenance Feedback (EMF) を強化
- 最大 8 GC シグナルの採取をサポート
- 新しい GC 一般機器タイプ用のラベル：Agilent GC System
- 新しい GC VL 機器タイプ用のラベル：Agilent GC Core System (VL)
- 他の機器の操作中に同じ機器コントローラで機器の再コンフィグレーション

AIC でコンフィグレーション可能な機器台数を増加

非ダイナミックロードバランスのバックアップ機器コントローラ設定により、コントローラハードウェアの柔軟性と使いやすさを向上しています。

ChemStation リビジョン C.01.09 の Agilent 機器コントローラ (AIC) では、最大 40 台の機器をコンフィグレーションできます。ただし、同時に使用するオンライン機器の台数は 10 台のままです (FID、ECD、VWD、RID などの 2-D 検出器)。

マニュアル積分を強化

マニュアル積分の描画時に、ラインを薄灰色からより濃い色に変更して見やすさを向上

インテリジェントレポート

- レポートヘッダーおよびフッターへのレポートアイテムの追加をサポート
- シングルメソッドパラメータ
- 計算結果に基づいたピークの塗りつぶしカラーと軸の範囲
- プログラム可能なカスタムフィールド値
- MS スペクトルのフローレイアウトでは、用紙の消費を削減
- フラクション結果テーブルとフラクションロケーション注釈のカスタマイズ

5 OpenLAB CDS ChemStation Edition C.01.08

インストールパスの変更

インストール時のデフォルト ChemStation パス（プログラムファイル、コンフィグレーションデータ、およびユーザーデータ）は、Microsoft の推奨事項により変更されています。アドオンソフトウェアは、インストール前に確認してください。

詳細については、インストールメディアのフォルダー Disk2¥Docs¥<language> またはインストール後の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Agilent Technologies] > [OpenLab CDS ドキュメント] からの『Agilent OpenLAB CDS ChemStation Edition - アップグレード準備ガイド』（CDS_CS-Upgrade.pdf）に記載しています。

インフラストラクチャサポートの変更

- OpenLAB Server 2.2 と OpenLAB ECM 3.5 HF03（ECM は、英語版システムのみサポート）をサポート
- OpenLAB CDS Shared Services Server 2.1 のサポートを終了

オペレーティングシステムサポート

- Microsoft Windows Server 2008、Windows 7（32 ビット）および Windows 8.1 のサポートを終了

ソフトウェア要件（インストールメディアで提供）

Windows 7 および Windows 10 での Microsoft .NET Framework 4.6

OpenLAB コントロールパネル

OpenLAB コントロールパネルは、OpenLAB CDS ChemStation C.01.07 SR3 に導入されたユーザーインターフェイスのスタイルを採用しています。

ユーザーインターフェイスの更新

- 機器ステータスインジケータが新しいカラー配色に変更され、新しい機器ハードウェアをシームレスに統合し、OpenLAB CDS との混合コンフィギュレーションをサポートしています。

	灰色 - 接続なし
	黄色 - ノットレディ
	緑 - 待機
	青緑 - スタンバイ
	紫 - プレラン/注入
	青 - 分析
	赤 - エラー

- モジュールパネルのユーザーインターフェイスが更新され、LC、GC および MSD 機器の表示を合理化しています。

クラシックドライバ

LC および 35900E 機器用クラシックドライバはサポートされなくなりました。RC.Net 機器ドライバで機器を再コンフィギュレーションする必要があります。

Agilent LC および CE の更新

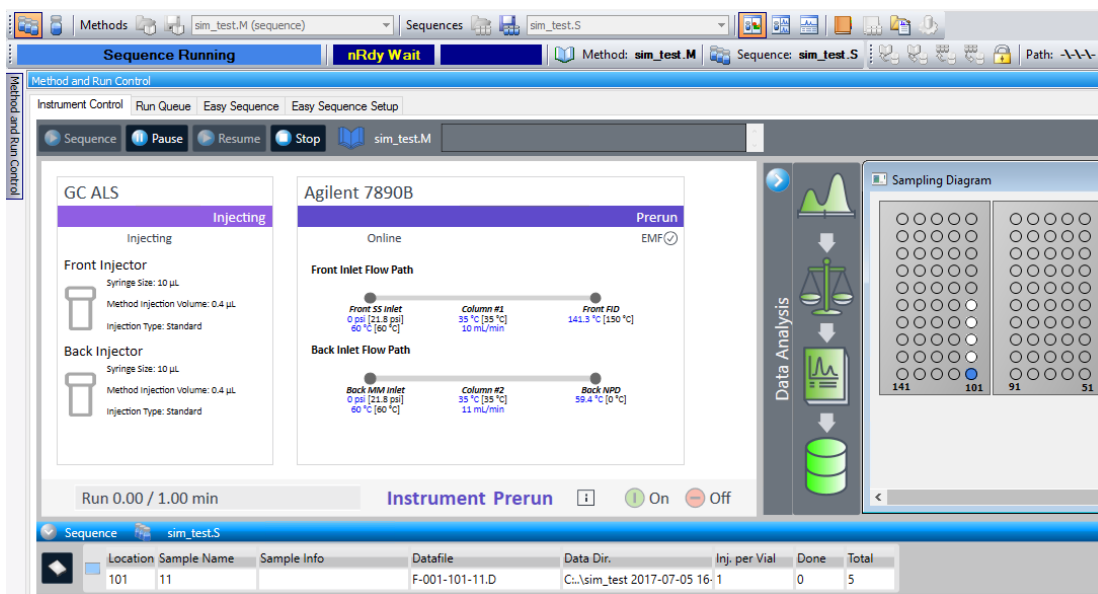
- Agilent LC/CE RC.NET ドライババージョン **A.02.18** を搭載
- Agilent 以外の機器は RC.Net コントロールが必要です。RC.Net ドライバの利用方法について、機器ベンダーのドキュメントを参照してください。
- 機器コントロール表示の新しいサンプルダイアグラムにより、シーケンス実行の進行状況を視覚的にモニタリング
- シングルランおよびシーケンステーブルでのグラフィカルなサンプルロケーションの選択
- サンプルエントリユーザーインターフェイスの新しいズーム機能

分取 LC

- フラクション開始ロケーションのグラフィック選択
- 大容量サンプル（マルチプルインジェクション）から取り込まれたフラクションのプーリングをサポート
- シングルランのマルチリクエスト
- 採取するフラクションのグラフィック表示により、対象フラクションを容易に割り当て
- フラクションコレクション結果の新しいレポート

Agilent GC の更新

- Agilent GC ドライバーバージョン B.01.03 を搭載
- シングルランのマルチリクエスト
- Agilent Intuvo 9000 GC および 78xx 向けの新しい GC ダッシュボード



インテリジェントレポート

- レポートヘッダーおよびフッターへのレポートアイテムの追加をサポート
- シングルメソッドパラメータ
- 計算結果に基づいたピークの塗りつぶしカラーと軸の範囲
- プログラム可能なカスタムフィールド値
- MS スペクトルのフローレイアウトでは、用紙の消費を削減
- フラクシオン結果テーブルとフラクシオンロケーション注釈のカスタマイズ

M8370AA OpenLAB Data Analysis

OpenLAB データ解析機能は現在、OpenLAB CDS 2.2 に限定されており、OpenLAB CDS ChemStation Edition ではサポートされていません。

- OpenLAB CDS 2.2 は、OpenLAB Server 2.2 バックエンドのある混合環境で、OpenLAB CDS ChemStation C.01.08 と併用できます。このため、OpenLab CDS 2.2 をインストールすることを検討してください。

Secure Workstation for OpenLab CDS ChemStation Edition

Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition では、OpenLAB Server 2.2 をセキュアストレージとして使用。

6 OpenLAB ChemStation Edition C.01.07 SR4

ソフトウェア品質の修正

- 詳細についてはインストールメディアの Disk2¥Support¥History¥C.xx.xx¥C.01.07 SR4 にある Software Release Bulletin (SRB) を参照してください。
- Rev. C.01.07 SR4 には過去にリリースされたポイントパッチが含まれています。Agilent InfinityLab LC/MSD システムに MS 検出器として LC/MSD (G6125B) および LC/MSD XT (G6135B) を コンフィグレーションすることが可能です。

注記

すべての C.01.07 SR3 のマニュアルは C.01.07 SR4 に対応しています。

インフラストラクチャサポートの変更

- OpenLAB Server 2.1 と OpenLAB ECM 3.5 HF02（ECM は、英語版システムのみサポート）をサポート
- OpenLAB CDS Shared Services Server 2.1 をサポート
- ソフトウェアは USB メディアで提供

オペレーティングシステムサポート

- Windows 10 Professional または Enterprise（64 ビット）
- Windows 8.1 Professional または Enterprise（64 ビット）
（アップグレードインストールの場合のみ 32 ビット）
- Windows 7 SP1 Professional または Enterprise（32 ビット/64 ビット）
- Microsoft Windows Server 2008 SP1 Standard または Enterprise
- Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard または Datacenter

データベースサポートの追加

- Microsoft SQL Server 2014
- PostgreSQL 9.3

ソフトウェア要件（インストールメディアで提供）

- Adobe Acrobat Reader DC Classic
- Microsoft .NET Framework 4.5.2（Windows 10 では 4.6）
- PDF-Xchange 6 プリンタドライバ

OpenLAB Control Panel 2.1

OpenLAB ChemStation Edition C.01.07 SR3 では、新しい OpenLAB Control Panel ユーザーインターフェイス（OpenLAB Control Panel 2.1）を導入しています。

コントロールパネルに 2 つの新しい権限が含まれます。

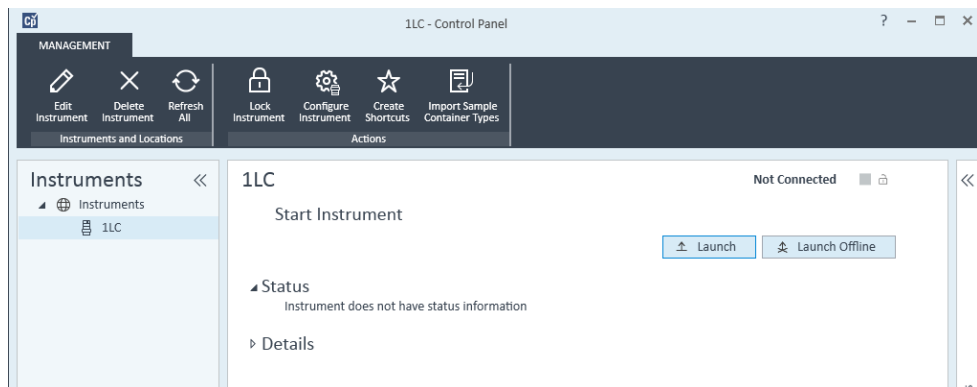
- [管理] > [システム管理] > **[機器コントローラの管理]**

この権限によって、ユーザーは OpenLAB Control Panel で機器コントローラを削除できます。

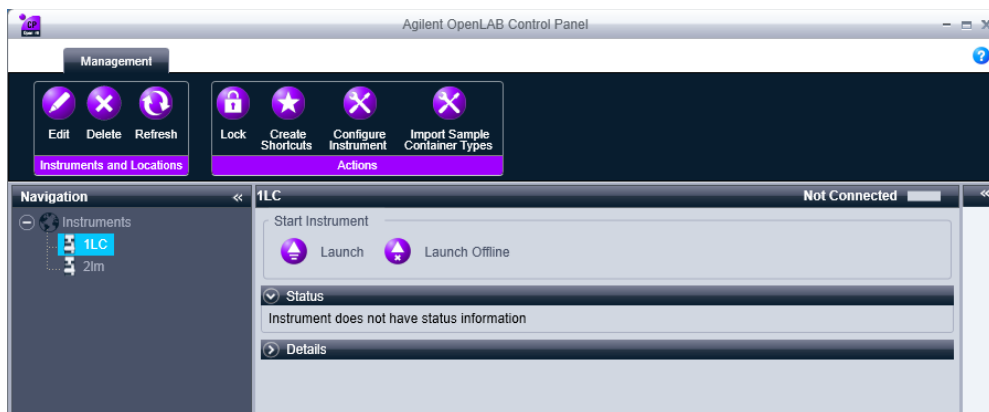
- [プロジェクト] > [プロジェクト管理] > **[ウェブクライアントからコンテンツへアクセス]**

この権限によって、ユーザーは Secure WorkStation for OpenLAB CDS ChemStation Edition で使用する Content Management ウェブクライアントインターフェイスや、OpenLAB Server バックエンド付きネットワーク/分散システムにアクセスできます。

- OpenLab Control Panel 2.1 は、新規インストールおよび C.01.07 より以前のバージョンからのアップグレードに対して展開されます。



- OpenLab Control Panel は、C.01.07、C.01.07 SR1、または C.01.07 SR2 からアップグレードした場合は変更されません。



OpenLAB CDS Shared Services

- SQL Server 2014 および Windows 10 のサポートを追加
- Agilent の新たな設計ガイドラインに基づいたユーザーインターフェイスに更新
- 「Windows ローカル」認証モードは、新しいインストールでは利用できない。
- イベントタイプに基づいたアクティビティログフィルタリング

データ取込

シングルランのメソッド注入量を無視する新しいオプション

新しい注入量フィールドがサンプル情報ダイアログに追加されました。シーケンステーブルで利用する機能と同等で、ユーザーはメソッドを変更せずにメソッド設定を上書きすることができます。変更された注入量にはレポートでマークが付けられます。

Agilent LC および CE の更新

- Agilent LC/CE RC.NET ドライバーバージョン A.02.15 を搭載
- G7159B 1290 Infinity II 分取 Open-Bed フラクションコレクタのサポート
- G7166A 1260 Infinity II 分取バルブベースのフラクションコレクタのサポート

フラクションコレクションの自動化

- フラクションコレクタモジュール用のクラシック機器ドライバーは、使用できません。これらのモジュールを含む機器は、RC.Net 機器ドライバーで再設定する必要があります。
- MS および UV ベースのフラクショントリガリング用の新しいディレイキャリブレーションウィザード
- データ解析におけるフラクションタイムは、複数検出器システムの場合は各ディレイタイムによって調整

Agilent GC の更新

- Agilent GC ドライバーバージョン B.01.01 を搭載
- Agilent 9000 GC システムを機器タイプとしてコントロールパネルに追加
- ユーザーインターフェイスの更新
- 7820 EPX サポート
- バックフラッシュウィザードでの使いやすさを向上
- サンドウィッチ注入の層順序を切り替える機能

コンプライアンス機能の強化

- 新しいセッションロック設計で使いやすさを向上
新しいセッションロックでは、ロックされたウィンドウのタイトルバーにロックステータスが示されます。ユーザーがソフトウェアを操作しようとする、ログインパネルが表示され、ユーザーは有効な資格情報によってセッションのロックを解除する必要があります。
- ChemStation 管理ツールでの設定変更は、OpenLAB Control Panel のアクティビティログに記録されます。

インテリジェントレポート

- レビューモードで、固有および非固有のストレージパスのレポートが可能
- 新しいフィールド：ピーク高さ 10% でのピーク幅

M8370AA OpenLAB Data Analysis

Windows 10 ではサポートなし。

OpenLAB Data Analysis 機能は OpenLAB CDS 2.1 に含まれます。
このため、OpenLAB CDS 2.1 をインストールすることを検討してください。
OpenLAB CDS 2.1 は、OpenLAB Server 2.1 バックエンドのある混合環境で、
OpenLAB CDS ChemStation C.01.07 SR3 と併用できます。

Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition

Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition では、OpenLAB Server 2.1 をセキュアストレージとして使用。

8 OpenLAB ChemStation Edition C.01.07 SR2

インフラストラクチャサポートの変更

OpenLAB CDS A.02.02 SR2 と OpenLAB CDS 2.0 は同じ OpenLAB Data Store サーバーの共有をサポート

OpenLAB Data Store 2.0 および ECM 3.4.1 SP2 のサポート

データ解析

- SIMDIS アプリケーション用に AreaSumSlice を拡張
- Foley-Dorsey ピークパラメータの計算を変更（ピーク対称およびカラム理論段数）
- システム スータビリティ／拡張パフォーマンスがネガティブ ピークに対して計算可能

Agilent LC および CE の更新

- Agilent LC/CE RC.NET ドライバーバージョン A.02.13
- 新たにカラムタグ付きのカラムが ChemStation コアカラムデータベースに自動的に転送されるようになりました。カラムはコアカラムテーブルダイアログに表示され、システムパフォーマンス計算ですぐにレポートおよび計算されます。
- G7116B マルチカラムサーモスタットが最大 8 つのタグ付きカラムをサポート
- LC カラムカタログまたは目録用のエクスポート／インポート機能
- マルチサンブラデュアルニードルに対する注入量のシーケンスのバリデーションでは、シーケンスラインで指定されたメソッドを考慮して注入量を検証

Agilent GC の更新

- Agilent GC ドライバーバージョン A.03.02
- 7890B は、Agilent 8355 化学発光硫黄検出器 (G3488A) および 8255 化学発光窒素検出器 (G3489A) をサポート
- G7300AA Easy SamplePrep が個別のソフトウェアアドオンとしてではなく、7693 ALS を使用した 6890 および 7890 用のメソッドのセットアップに搭載
- GC78xx のメソッド編集で、注入口、検出器、オープン、シグナルなどの使用可能な機器デバイスのナビゲーションツリーを提供
- 7820A が FPD、FPD+、COC および TCD タイムイベントをサポート
- リテンションタイムロックが 7820A でサポート

サードパーティ製の機器コントロールドライバー

- M8505AA Waters Acquity ドライバーサポート
- Waters 2998 PDA および 2489 デュアル波長検出器を含む Alliance および e-Alliance 用の M8239AA Waters Alliance LC アドオンサポート

Agilent 35900E RC.Net コントロールドライバーが使用可能

- ChemStation AIC 上の 2 台の独立した機器での 35900 チャンネルの分割をサポート

コンプライアンス機能の強化

セキュアファイル IO を用いた ChemStation ファイルの保護

- データ、メソッド、シーケンスなどの ChemStation ファイルは、さまざまなローカルフォルダーに保存されます。データの完全性を確保するために、ChemStation ではセキュアファイル IO 機能を提供しています。この機能を有効にした場合、すべてのフォルダーが ChemStation 外部からの変更や [開く] または [名前を付けて保存] ダイアログでの変更から保護されます。
- 保護されていないフォルダーへのアクセスをコントロールするため、3 つの新たなユーザー権限が導入されています。

詳細については、『OpenLAB CDS 管理者用ガイド』の「セキュアファイル IO を用いたフォルダー保護」を参照してください。

シーケンス監査証跡

- シーケンスの監査証跡では、実行されたオリジナルのシーケンスを表示可能
- 追跡を改善

中央記憶領域およびキュー管理へのデータ転送の通知を改善

- キューにあるアップロード待ちのデータファイルをアスタリスクでマーク
- キューからエントリを削除するときのキュー管理メッセージ送信を改善

Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition

- Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition では、OpenLAB Data Store 2.0 をセキュアストレージとして使用
- **オフラインアーカイブ**と呼ばれる新しいアーカイブオプションにより、選択されたファイルやフォルダーを OpenLAB Data Store データベースから削除してオフラインでアーカイブ可能オフラインでアーカイブされたファイルは、インストール時に作成されたフォルダーに保存（D:\DSArchive など）
- Agilent の新たな設計ガイドラインに基づいた新しいユーザーインターフェイス

9 OpenLAB ChemStation Edition C.01.07 SR1

データファイル名を作成するときのパターン

新しいデータファイル名の作成オプションにより、データファイル名に対してバイアル番号やシーケンスラインなどのトークンの選択が可能です。これは新規シーケンステンプレート用のデフォルトオプションです。

インテリジェントレポート

同一パラメータを用いた同じバイアルからの複数（繰り返し）の注入をグループ化するときを使用できる、サンプル順序のフィールドが新たに追加されました。

ECM/Data Store データパスでの <ユーザー名> トークンの使用

シーケンスを実行したユーザーの <ユーザー名> トークンにデータが保存されるようになりました。

10 OpenLAB ChemStation Edition C.01.07

Agilent LC/CE RC.NET ドライバの更新（バージョン A.02.10）、 ドライバ A.02.11 のサポート（後日リリース）

- 新しい Agilent 1290 Infinity II マルチサンプリング（G7167A/B）のサポート
- ドライババージョン A.02.11 では新しい Agilent Infinity II モジュールのサポートを追加
- ハートカット搭載 2D-LC：困難な分割に対して 1 次元 LC と 2D-LC を容易に切り替え

Agilent GC ドライバインストールパッケージ A.02.05 の更新

- Agilent 78xx RC.Net GC ドライバ、バージョン 5.05
- Agilent 68xx RC.Net GC ドライバ、バージョン 6.25

新しいグラフィカルサンプルエントリ（LC のみ）

オートサンプリングとサンプルコンテナ（トレイとプレート）のグラフィック表示を導入して、シーケンスやサンプルリストの作成作業を簡単にしました。

新しい OpenLAB CDS VL 製品のオプション

Agilent LC コアシステムドライバは、OpenLAB CDS VL コアライセンスにバンドルされています。このドライバは、完全な 1260 Infinity LC 機器を、選択したモジュールと一緒に実行できます（詳細については、『サポートされる機器およびファームウェアガイド』を参照してください）。

データベースサポートの追加

- Microsoft SQL Server 2012 SP2 Standard または Enterprise Edition
- PostgreSQL 9.2
- Oracle 12c R1
- Microsoft SQL Server 2008 R2 SP2 Standard、Enterprise または Express Edition（Express Edition はアップグレードでのみサポート）
- Oracle 11g R2 はアップグレードでのみサポート

オペレーティングシステムサポート

- Windows 7 SP1 Professional または Enterprise (32 ビット/64 ビット)
- Windows 8.1 Professional または Enterprise (32 ビット/64 ビット)
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- M8313AA Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition
C.01.07 で Microsoft Windows 8.1 (64 ビット)

OpenLAB Control Panel

ラボ全体表示に現在実行中のサンプルを表示する「現在のサンプル」という列が加えられました。

GC クラシックドライバ

68xx GC クラシックドライバは、データの取り込みに使用または選択することができなくなりました。 アップグレード後に Agilent OpenLAB Control Panel で RC.NET ドライバを使用する場合は、68xx シリーズ GC をもう一度コンフィグレーションしてください。 GPIB を使用する GC は LAN を更新してください。 68xx GC クラシックドライバの更新プログラムおよび修正プログラムは今後ありません。

その他の機能

- シーケンス監査証跡
- AIC 上でのリモート ChemStation ターミネーション
- OpenLAB Control Panel からコンテナタイプのサンプルをインポートする

11 OpenLAB ChemStation Edition C.01.06

ライセンス

OpenLAB CDS A.02.01 でライセンスバージョンをアップしています。OpenLAB CDS ChemStation Edition C.01.06 でライセンスバージョンは 1.6 に上がっています。新しい OpenLAB CDS ChemStation Edition C.01.06 をインストールする前にライセンスをアップグレードしなければなりません。お客様が有効な SMA をお持ちの場合は、SubscribeNet に更新ボタンが表示され、ライセンスをバージョン 1.6 にアップグレードすることができます。

新製品のオプション

- VL ライセンスでの 490 マイクロ GC ドライバ
- M8390AA OpenLAB CDS ChemStation データ解析のみのライセンスを追加
- M8313AA Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition

オペレーティングシステムサポート

- Windows 8.1 Professional または Enterprise (32 ビット/64 ビット)
- Windows 7 SP1 Professional または Enterprise (32 ビット/64 ビット)
- M8313AA Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition C.01.06 を持つ Microsoft Windows 7 SP1 (64 ビット)
- Microsoft Windows XP のサポート終了

M8620AA OpenLAB Data Store ソフトウェア A.02.01

- OpenLAB Data Store に独自のインストーラを装備
- PostgreSQL データベースをサポート
- 最大 30 台の機器をサポート詳細については、Data Store のハードウェアおよびソフトウェアの要件ガイドを参照してください。
- OpenLAB CDS ChemStation Edition と ICP-MS WorkStations を同一サーバ上でサポート
- このライセンスで Lab Applications はサポートされない

OpenLAB CDS Shared Services

- OpenLAB Shared Services のログイン、フェイルオーバー、およびローカルコンフィグレーション画面を更新
- PostgreSQL データベースをサポート

OpenLAB CDS インストール

OpenLAB CDS インストールでは、G4260A (Agilent 380 ELSD) / G4261A (Agilent 385 ELSD)、G4260B (Agilent 1260 Infinity ELSD)、および G4261B (Agilent 1290 Infinity ELSD) 用の ELSD ドライバーを展開しています。

M8370AA OpenLAB Data Analysis A.01.02

OpenLAB Data Analysis は、OpenLAB CDS ChemStation および EZChrom Edition のクロマトグラフィデータ用の製品です。 OpenLAB Data Analysis A.01.02 では、生産性、キャリブレーション、定量が強化され、データのレビューおよび再解析などのユーザーインターフェイスが改善されました。 強化された詳細なリストについては、Disk 7 のリリースノートを参照してください。

(新) M8313AA Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition

Secure Workstation for OpenLAB CDS ChemStation Edition は、2 つの製品 (OpenLAB CDS ChemStation Edition C.01.06 および OpenLAB Data Store A.02.01) の組み合わせで、最大 2 台の機器を同じコンピュータ上で実行できます。

新しいソフトウェア ベリフィケーション ツール

インストール適格性評価 (IQT) および据付時適格性評価レポートの名前が、ソフトウェアベリフィケーションおよびソフトウェアベリフィケーションレポートに更新されました。 機能に変更はありません。

メソッドおよびシーケンス

シーケンステーブルのユーザーインターフェイスの新しいレイアウト

- 新しい直観的なシーケンステーブル設定ウィザード
- Excel などの外部プログラムとの間でのコピーと貼り付け

- Excel と同様のテーブル編集
- 新しい GC 用のテーブルでの注入ソースの選択、1 つのテーブルで前後の注入の切り替えをサポート
- 1 つのテーブルでのデュアル注入設定
- 複数の ISTD (最大 8)
- バーコード読み取りを強化

ランキュー

- キュー管理用の新しい権限
- ランキューからエントリを削除
- ランキュー内のプライオリティを変更

実行中のシーケンスの編集

- 一度シーケンステンプレートをキューに送信すると、シーケンスラインはランごとのリストに変換されます。
- 複数の注入がシーケンスラインによってグループ化される機能はなくなりました。例えば、ロケーションごとに 4 回の注入を行う場合、プレビューしやすいように、4 つの独立したシーケンスラインとして表示されます。一度シーケンスを開始すると、ロケーションのシーケンスラインごとに複数の注入を追加する操作は行えなくなります。注入ごとに個別のラインを入力しなければなりません。注入ごとに個別のラインを追加するには、「下へコピー」ウィザードを使用できます。
- 実行中のシーケンス内にランを追加したり、実行中のシーケンス内のランを編集したりすると、データファイル名が **OnlineEdited#.D** に設定されます。# には、番号が入ります。

OpenLAB CDS のアップグレード

OpenLAB CDS A.02.01 では、アップグレードの進行中にもラボ作業を行うことができ、ラボの機能停止時間が最小限に留められます。このモードでは、同一ネットワーク環境または同一分散環境内での異なる複数バージョンの OpenLAB CDS の実行がサポートされます（詳細については、『OpenLAB CDS 管理者用ガイド』を参照してください）。

78xx および 68xx の def_gc.m が書き込み可能に

def_gc.m で機器設定を更新できるようになりました。

インテリジェントレポートの強化

- 検量線印刷を強化
- クロマトグラムのスケールオプションの強化および新しい色オプション
- 複数のレポートアイテムのフォントプロパティを同時に変更
- UV シグナルを含めなくても行える機器の検量線の印刷
- テーブル列のプロパティへの直接アクセス
- グラフの軸スケールでの式のサポート
- 図表制御のためのシンプルなピークフィルタ（テーブル、マトリクスあんど）
- 紙のサイズおよび向きをいつでも変更可能
- アライメントツールの改善
- レポートテンプレートおよび監査証跡ビューア用の日付/時間フィルター
- LC/MS レポートの基本サポート:
 - LC/MS クロマトグラム (メソッドで定義した TIC および EIC)
 - LC/MS スペクトル (ピーク頂点および平均スペクトル)
 - LC/MS 定量結果

ルールとアラートの管理

事前注入のエラー処理 (トレイの不足バイアル、インジェクタのプランジャーエラー) を設定可能

- バイアルをスキップ
- 一時停止
- 停止
- GC 停止ボタンを押した後でアクションをコンフィグレーション可能
- (新規) GC キーボードで Stop キーを押すと、現在の実行が停止し、レポートが生成され、シーケンスの次の行を続行します。
- 中断

GC のバーコード読み取りを強化

シーケンスにおいて各注入の前にバーコードを自動的に読み取ります。シーケンスはブランクのサンプル名で実行されます。バーコードは各注入の前に読み取られ、レポートのサンプル名フィールドに書き込まれます。

サンプル名はバーコードから直接シーケンステーブルに自動記入されます。サンプル名列をハイライトしてバーコードアイコンを選択すると、入力されていないシーケンステーブルの各サンプル名フィールドにバーコードが自動的に書き込まれます。

Agilent 78xx GC ドライバの更新 (バージョン 5.03)

- 水素漏れが検出された場合、水素センサのキャリブレーション、レポート、水素シャットダウンをサポート
- LAN の短い中断後の操作を改善
- [メンテナンス] ダイアログで NPD 調整設定が使用可能に
- キャピラリー・フロー・テクノロジー・ソフトウェアウィザードが 78xx ドライバと同時にインストールされ、メニューとして使用可能
- メソッドマイグレーション (68xx から 7890 へ)
- 7697A ヘッドスペースから 7890B GC への通信をステータスに表示
- EMF およびスweep/ウェイクおよびベントメソッドでの 7890B GC および 7697A ヘッドスペース間での直接通信を改善

Agilent LC および CE ドライバ (RC.NET ドライバ A.02.09) の更新

- ISET 3 (Intelligent System Emulation Technology) - 1290 クォータナリポンプを使用 [G4204A]1290 クォータナリポンプを使用して ISET 3 搭載の他のポンプをエミュレートできるようになりました。
- DAD 検出器 (G4212A/B) の HDR 機能をサポート
- バルブヘッド 5067-4214 (2ps/4pt-4pt、1200 bar) と UVD G1170A および Flexible Cube G4227A をサポート

Agilent 68xx GC ドライバの更新 (バージョン 6.23)

- 取り込み中にメニューアイテムから分析時間を延長
- ソフトウェアから 6850 GC のカラム補償の実行機能
- フロント注入口がバック検出器に接続されている場合、データファイルにはカレントシグナルが含まれる
- メソッド編集の [コンフィグレーション] タブ/ALS でオートサンプラのエラー処理の設定

GC クラシックドライバのサポート終了

GCクラシックドライバはテストおよびサポートされなくなりました。

68xx シリーズ GC アップグレードは、Agilent OpenLAB Control Panel で RC.NET ドライバを使用して、6890/6850 をもう一度コンフィグレーションしてください。GC クラシックドライバの更新プログラムおよび修正プログラムは今後ありません。

ヘルプの「バージョン情報」ボックスで製品および機器ドライバのバージョンを表示

詳細な製品およびドライバのバージョンが表示されるようになりました。

12 OpenLAB ChemStation Edition C.01.05

メソッドおよびシーケンス

ユーザーは、取り込みメソッド表示を使用して、[メソッド & ランコントロール] ビューで取込メソッドを確認できるようになりました。ビューはメソッドを機器にロードしません。また、メソッド変換をトリガーしません。

データ解析

シングルサンプルのデータ解析ワークフロー

[ナビゲーションテーブル] に、シングルサンプルの取込メソッドとデータ解析メソッドが表示されるようになりました。システムはシングルラン用にそれぞれのマスターメソッドを自動的にロードします。上部にデータ解析メソッドのパスが表示されます。

前回の結果モード

[表示] メニューまたは [データ解析] ビューの新しいアイコンから前回の結果モードにアクセスできるようになりました。 前回の結果モードを使用して、D.A.M メソッドからマスターメソッドへ前回使用したデータ解析パラメータを保存できるようになりました。3つのオプションがあります。

- 任意のマスターメソッドをデータ解析パラメータで更新する
- ロードしたマスターメソッドをデータ解析パラメータで更新する
- データ解析パラメータとマスターから取り込んだパラメータを組み合わせで新しいマスターメソッドとして保存する

前回の結果モードで、ユーザーはデータ解析メソッド D.A.M のみを更新し、変更したデータ解析パラメータをマスターメソッドに保存する時にレポートを作成することができます。

再計算モード

再計算モードで、同じアクションがアイコンとしてリストされるようになりました。

[プレファレンス] で、前回のデータ解析に使用したマスターメソッドを自動的にロードするように選択することができます。オプションはシングルランのロードにおいて適用されます。

レポート

インテリジェントレポートの強化点

式結果に基づいた条件付き書式を使用してテーブル列をフォーマットできるようになりました。式には、カスタム変数およびパラメータを含めることができます。

ユーザーは EMF カウンタおよび詳細ラン情報をレポートに含めることができるようになりました。

クロマトグラムの表示または印刷

新しい印刷オプションは、白黒プリンタでのクロマトグラム出力を最適化します。シグナルはすべて黒色で描かれます。

ベースラインの描画が改善されました。シグナルが重なった場合に、ユーザーはシングルシグナルのピーク注釈を制限するか、すべての注釈を付けるかを選択できます。

検出器の高いサンプリングレートでは、ビットマップデータの圧縮をオフにすることができます。このオプションによる取得した生データへの影響はありません。データ圧縮をオフにすると、シグナルの表示および印刷のみが改善されます。

新しいレポートオプション「フラクションディレイ」を使用すると、クロマトグラム出力でフラクションがマーキングされた時に、フラクションコレクタと検出器の間の遅延時間を補正することができます。

ACAML ファイルではなく ChemStation レジスタファイルから監査証跡情報を読み取ることにより、印刷のパフォーマンスが改善されました。監査証跡は、引き続き予想通りにレポートされます。

インテリジェントレポートのプレビュー

更新したレポートのプレビューを、ハードコピーとして印刷または PDF として保存できます。

Agilent 78xx GC ドライバの更新 (バージョン 5.01)

- 新しい Agilent 7890B 機器のサポート
- バイアルの不足などのオートサンプラ (ALS) のエラー処理の改善 (GC ステータスのユーザーインターフェイスで指定する ALS 中断/再試行オプション)
- 7890B での新規リソースの管理機能 (スリープ/ウェイク)

- 7890B での新規 Early Maintenance Feedback (EMF)
- 7890B での新規バーコードスキャンと自動入力
- カラムロック機能などのカラムコンフィグレーションの更新
- 新しいシリンジとライナーのコンフィグレーション
- 7667A Mini Thermal Desorber (TD) のサポート
- メソッド編集に統合された GC 計算
- カラムデータベースの更新
- シリンジとライナーの新規データベース
- 新しいキーパッドロックオプション

リソースの管理機能 (7890B)

新しいリソースの管理機能を使用して、ユーザーはガスおよび電力の消費を低減することができるようになりました。手動で、またはウェイク/スリープメソッドで時間をスケジュールして機器をスリープにすることができます。

EMF (Early Maintenance Feedback) (7890B)

GC のコンフィグレーションに基づいて、ユーザー定義の EMF カウンタを OpenLAB CDS で設定できるようになりました。警告およびサービス期限の通知は、設定したスレッシュホールドに基づいて表示されます。EMF 例外はインテリジェントレポートに印刷することができます。

バーコードスキャン (7890B)

バーコードスキャンにより、カラム、ライナーおよびシリンジ情報をメソッドに自動的に移動することができます。

Agilent Parts Finder

新しい Agilent Parts Finder ツールは、OpenLAB CDS ChemStation Edition と緊密に統合されています。このツールは [機器] メニューから呼び出すことができ、ユーザーはパーツ番号を素早く見つけ、パーツリストやお気に入りに追加して、パーツリストを印刷したりファイルに保存したりすることができます。Parts Finder では、7693A および 7650A ALS、7890A および 7890B GC がサポートされています。

Agilent LC ドライバ (RC.NET ドライバ A.02.07) の更新

以下を含む、Agilent 1260 分取 LC システムのサポート

- 1260 アイソクラティック分取ポンプ (G1361A)
- 最大 4 個の 1260 アイソクラティック分取ポンプ (G1361A) のクラスタ
- フラクションコレクタ (G1364A)
- 最大 3 個のフラクションコレクタ (G1364A/B/C または G5664A) および追加で 1 個のフラクションコレクタ (G1364A/B/C または G5664A) のクラスタ
- 1260 デュアルループオートサンプラ (G2258A)
- 1260 分取オートサンプラ (G2260A)

Agilent 68xx GC ドライバの更新 (バージョン 6.21) (2013 年 8 月にリリース)

- ソフトウェアから 6850 GC のカラム補償の実行機能
- フロント注入口がバック検出器に接続されている場合、データファイルにはカレントシグナルが含まれる
- メソッド編集の [コンフィグレーション] タブ/ALS でオートサンプラのエラー処理の設定

サードパーティのドライバ: Waters Acquity のサポート

Waters Acquity ドライバは、OpenLab CDS ChemStation Edition C.01.05 で以下の Waters Acquity および Acquity H-Class モジュールをコントロールできます。

- ACQUITY サンプルマネージャ
- ACQUITY Binary Solvent Manager
- ACQUITY カラムマネージャ (CM)
- ACQUITY H-Class サンプルマネージャ FTN
- ACQUITY H-Class クォータナリソルベントマネージャ
- ACQUITY H-Class カラムマネージャ (CM-A)
- ACQUITY H-Class カラムマネージャ AUX
- ACQUITY および ACQUITY H-Class サンプルオーガナイザ
- ACQUITY および ACQUITY H-Class TUV 検出器
- ACQUITY および ACQUITY H-Class PDA 検出器
- ACQUITY および ACQUITY H-Class PDA eLambda 検出器

- ACQUITY および ACQUITY H-Class 蛍光検出器
- ACQUITY および ACQUITY H-Class ELSD 検出器

5890 シリーズ II GC は使用可能だがサポートしない

5890 シリーズ II GC を設定する機能が使用できるようになっています。5890 シリーズ II の新しいアップデートまたはホットフィックスは今後ありません。

M8620AA OpenLAB Data Store A.01.02

OpenLab Data Store A.01.02 から、Lab Applications が導入され、一般的なラボワークフローへの対応が可能になりました。これには 2 つのアプリケーションが含まれています。

サンプルリクエスト

- 分析の要求 - クロマトグラフィシーケンスを準備して、Data Store を通してこれを分析者に割り当てます。
- 分析の受け入れと完了 — 分析者はシーケンスを受け取り、Agilent CDS システムを使用して機器で分析を行い、結果を Data Store に保存します。
- 結果レビュー — 結果をインポートして、Data Store 上でレビューし、承認または却下します。

ラボジャーナル

- 機器やカラムなどのラボアセットを管理します。
- 機器の整備、交換、キャリブレーションなど、重要なラバイベントを記録します。
- 特定の機器またはカラムで発生した作業を検討します。

機器またはカラムのシンプルな使用頻度の情報を表示します。
さらに、新しいアプリケーションをサポートするため、Data Store ユーザーインターフェイスが更新されました。

M8370AA OpenLAB データ解析 A.01.01 (新規)

OpenLAB Data Analysis で、Agilent はサンプルレポート、シーケンスサマリレポート、およびマルチシーケンスサマリレポートの作成が可能な新しいデータ解析パッケージを導入します。これは、EZChrom と ChemStation Edition のデータに互換性があり、これらを統合できます。

初回のリリースは、化学製品および石油化学製品の研究室と、炭化水素プロセス工業におけるデータ解析用に設計されています。バージョン A.01.01 の機能：

- 迅速な再解析処理 (OpenLAB CDS の 10 倍以上の処理速度)。
- 直感的なユーザーインターフェイス。
- メイン機能やデータにすばやくアクセスするための Microsoft スタイルのリボン機能とデータ選択ツリーの改善。複数フォルダーからのデータ選択、完了した結果セットの読み込み、シングルサンプルの選択などを行うことができます。
- 迅速なレビューに対応した、ワンクリックで利用できるピーク積分ツール。
- 容易なサンプルレビュー：新しいデータ表示コンセプトにより、数百のシグナルの重ね書きと比較が可能になりました。LC 機器と GC 機器の同時連携が可能で、複数のメソッドとデータセットを平行して使用することができます。
- 特定のピークに合わせた自動スケール、メインピークの無視、ベースラインに合わせたスケールなどが可能です。
- 事前に用意されている 4 つの変更可能なレイアウトを使用した、画面レイアウトのカスタマイズをサポートしています。

13 OpenLAB ChemStation Edition C.01.04

OpenLAB Data Store A.01.01 CDS サポート

OpenLAB Data Store は、安全に電子ファイルをアーカイブ、保存、共有できる中央リポジトリです。

OpenLAB CDS ChemStation Edition および Shared Services では、分析データの保存場所として、OpenLAB Data Store の使用に対応しています。Data Store 保存システムの使用は、OpenLAB CDS のネットワークシステムおよび分散システムでサポートされており、システムに次のような利点があります。

- 小規模および中規模のラボ向けの、セキュリティ機能のある中央記憶領域システム
- 中国語および日本語のローカライズコンテンツに対応
- 検索、共有およびレビュー用の Web ベースのデータアクセス
- 21 CFR 11 準拠の電子署名と監査証跡

マスターインストーラの更新

- マスターインストーラでは、C.01.03 システムからの自動アップグレードインストールをサポートします。
- マスターインストーラでは、サーバ、AIC、クライアントを含めた中央データ記憶領域システムコンポーネント用の Data Store または ECM のインストールをサポートするようになりました。
- マスターインストーラのメンテナンスセクションで、ソフトウェアインストールの修復がサポートされるようになりました。
- マスターインストーラのメンテナンスセクションで、追加ソフトウェアのインストールツールが使用できるようになりました。現在、以前のリリースからアップグレードした AIC またはクライアントへの OpenLAB Data Store コンポーネントの追加のみサポートしています。
- スクリプトを使用したクライアントおよび AIC のインストールに対応するようになりました。インストーラパラメータ定義の最後に XML ファイルをエクスポートし、その後に他のマシンに同一のコンフィグレーションでインストールすることができます。

OpenLab コントロールパネル/Shared Services の更新

- ライセンスユーザーインターフェイスの強化
- Data Store の一般的なプロジェクト
- Data Store 認証
- Data Store との同期

Intelligent Reporting Report テンプレートエディタ (RTE) の更新

- ユーザー入力のレポートパラメータ
- レポートテンプレート内の個別レポートアイテムの保護
- 2 行のテーブル
- ドキュメントマップ
- レポートを DOC または TXT 形式でエクスポート

メソッドおよびシーケンスキュー

- シングルサンプルキュー
- シングルランデータのファイル名指定オプションの強化

機器の起動におけるメソッドのダウンロードオプション

ChemStation 起動時のメソッドダウンロードのユーザーオプション

データ解析の改善

- 欧州薬局方および日本薬局方に準じる相対リテンションタイム、分離度、論理プレート数、S/N 比、ピーク谷比の計算、およびインテリジェントレポートへの値の使用。
- ピークパフォーマンス
- 面積和の強化

Agilent LC ドライバの更新

- コントロールと操作性をより向上させたステータスダッシュボードの更新
- 1290 クォータナリポンプ (G4204A)
- DAD 付き 1220 Infinity LC (G4294B)
- Flexible Cube (G4227A) (スタンドアロンドライバ)
- ユニバーサルインターフェイスボックス II (G1390B)

Agilent 78xx および 68xx GC ドライバの更新

- 78xx GCs (バージョン 4.02) で (G4567A) 7650 インジェクタのサポート
- [メソッド] メニューに分析時間を延長する、または 68xx GC (バージョン 6.11) の実行中にオープン温度を変更するアイテムが追加されました。
- GC 트레이 ユーザーインターフェイスの強化 (RC.NET のみ)
- メソッド監査証跡およびメソッド変換監査証跡。

OpenLAB ドキュメントおよびマニュアルにアクセスするための新しい HTML ページ

OpenLAB CDS ドキュメントの新しい HTML ページは、[スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Agilent Technologies] > [OpenLAB CDS ドキュメント] からアクセスできます。

14 OpenLAB ChemStation Edition C.01.03

シーケンスプラン

[キュープラン]を使用して、シーケンス (ChemStation シーケンステンプレートまたはイージーシーケンスのいずれか) および一時停止を設定します。[キュープラン]では、夜間や週末に実行する長時間のルーチンタスクのスケジューリングが可能です。

更新された Agilent LC ドライバ

- ISET のサポート
- シングル G1364A/B/C および D オートフラクションコレクタの RC.NET ドライバのサポート
- 低流量サンプラ、ポンプおよびバルブ (G1377A、G1389A、G1376A、G2226、G1162A、G1163A) のサポート
- 新しい LC ハードウェア G5664A バイオイナート AFC、1290 UVD (G1170A) のサポート

Agilent GC ドライバの更新

78xx ドライババージョン 4.02[023]

7890A GC 用の低熱容量 II (LTM-II) 高速加熱/冷却システムの更新。このリリースでは、低熱容量 II (LTM II) システムの完全な制御機能を 7890A GC と ChemStation に組み込んでいます。LTM II カラムの ID タグの追加サポートにより、GC および ChemStation で自動コンフィグレーションが可能になり、分析回数、温度過剰および逸脱をトラッキングすることができます。

68xx ドライババージョン 6.11[008]

新しい G3581A 490 マイクロ GC のサポート

15 OpenLAB ChemStation Edition C.01.02

Agilent OpenLAB ECM の接続性

OpenLAB CDS ChemStation Edition の C.01.02 リリースでは、ECM をデータの保存ロケーションとしてサポートするようになりました。この機能により、データシステムで以下の拡張機能が利用できます。

ECM によって、Agilent OpenLab Enterprise Content Management (ECM) システムに有効な保存ロケーションおよび認証プロバイダとして CDS から直接データの保存および取得を行います。

これには以下のような利点があります。

- データ、メソッド、およびシーケンスのキーワード検索
- 共有とレビュー用の Web ベースのデータアクセス
- 自動のデータアーカイブ
- 結果パッケージのバージョンコントロール
- 強化されたセキュリティ
- CDS データのあらゆるラボコンテンツとの統合
- シンククライアントのコンフィグレーションサポート

マスターインストーラの更新

OpenLAB CDS コンポーネントの自動アンインストールはすべて、マスターインストーラから利用できます。

ワークステーションおよびネットワークワークステーションでの、 LC/MS および CE/MS のサポート

新規トポロジー：

分散システム (ネットワーク AIC およびクライアント)

Agilent GC ドライバの更新、78xx バージョン 4.01、68xx バージョ ン 6.10

- 68xx ソフトウェアドライババージョン 6.10 では、バーコードリーダーから注入用タレットに直接バイアルを移動できるよう更新されました。途中で停止し、バイアルをトレイロケーションに戻す必要がなくなりました。
- 機器パラメータの実測値を、メソッド編集ユーザーインターフェイスにある設定値の隣りで確認できるようになりました。
- 7890A: シグナルイベントテーブルでデジタルシグナル切り換え、シグナルゼロ、シグナル固定/再開を設定できるようになりました (7890A では、ファームウェアリビジョン A.01.12 以降が必要です)。
- 機器の実測値ビューおよびグラフィックプロットを表示/非表示切り替えができるようになりました。
- 7890A: シャットダウンイベント (水素のシャットダウンなど) は、ソフトウェアステータスに含まれるようになりました (7890A では、最低でもファームウェアリビジョン A.01.12 が必要です)。
- カラムユーザーインターフェイスに、コンスタントフロー、コンスタントプレッシャー、ランププレッシャー、コントロールモード選択のためのコンスタントフローが含まれるようになりました。
- 7820A GC での G4514A 7693A トレイサポート。
- 68xx GC のスタートボタンを押して、GC から分析を開始できるようになりました。

Agilent サポート情報

- すべての機器セッションには、ヘルプメニューから起動することができるサポート情報ツールが実装されています。これは、システムの現在の状況に関する情報を集め、ソフトウェアとハードウェアのエラーメッセージ、およびオペレーティングシステムのリビジョンを記録するために使用するトラブルシューティングのツールです。この情報は、機器の Temp フォルダーに収集されます。
- このツールにより、名前、住所などの個人情報は収集されることはありません。

16 OpenLAB ChemStation Edition C.01.01

インテリジェントレポート

OpenLAB CDS では、GC および LC ChemStation データ用に新しくインテリジェントレポート機能を提供します。この新しいインテリジェントレポートは、クラシックレポートの追加として用意されています。新規インテリジェントレポートでは、業界標準のレポート書式で最新のレポートを作成できます。利用が容易な WYSIWYG インターフェイスの内蔵された新規のレポートテンプレートエディタを使用すると、レポートテンプレートを簡単に作成、変更することができます。レポートテンプレートは、Microsoft Business Intelligence Studio でも使用されている標準のレポート定義言語 (RDL) で保存されます。

インテリジェントレポートを有効にすると、新設の「レビュー」ビューが利用可能になります。これにより、データファイルのさまざまな組み合わせに対してあらゆるレポートテンプレートを適用することができます。

OpenLAB Control Panel / OpenLAB Shared Services

OpenLAB Shared Services では、ユーザー、機器、およびライセンスを管理することができます。OpenLAB Shared Services は OpenLAB Control Panel で管理されます。

- **機器管理:** OpenLAB Control Panel では、機器の設定およびコンフィグレーションを行うことができます。OpenLAB Control Panel から、機器を起動します。さらにコントロールパネルでは、ワークステーションまたはネットワークワークステーションにおいて、全体の機器ステータスを表示できます。
- **ユーザー管理:** OpenLAB Control Panel では、ユーザー、グループ、ロール、および権限を管理できます。ECM システムまたは Windows ドメイン内でユーザーを管理する場合、これらの既存のユーザーを OpenLAB Shared Services にマッピングできます。
- **ライセンス管理:** このサービスにより、機器モジュールやアドオンに必要なすべてのライセンスを管理することができます。ライセンスの追加や削除、およびすべてのライセンスのステータス表示が可能です。

新しいライセンス

OpenLAB CDS ChemStation Edition では、ライセンスをより効果的に使用するため、新しいライセンス方式を導入しています。機器コントロール、ドライバおよびアドオンのライセンスは、すべてフローティングライセンスです。機器は、起動時にライセンス管理へ必要なライセンスを要求し、終了時にライセンスを戻します。新規ライセンス取得については、Flexera Software™ SubScribeNet® technology に基づいています。この方式により、ソフトウェアライセンス管理およびライセンスの追跡が簡素化され、リリース直後の新規または緊急のソフトウェアおよびパッチのダウンロード情報を受け取ることができます。

新規データ解析ワークフロー

OpenLAB ChemStation C.01.01 には、[再計算] モードと[再解析] モードの2つのデータ解析モードが用意されています。[再解析] モードでは、シーケンスのコンテキスト (例: ブラケットキャリブレーション) でサンプルを再解析できます。[再計算] モードでは、あるサンプルまたはサンプルセットを別のメソッドで素早く再計算できます。各モードと関連付けられた必要な機能は、別のツールバーで利用できます。

結果セット: ここではコンテナは結果セットと呼ばれます。結果セットで 사용되는メソッドは、取込中に変更される場合があります。すでに取り込んだデータを利用して、独自の結果セットを作成することができます。ユーザーが編集した結果セットを、クロスサンプル計算などに使用することができます。

メソッド処理: ChemStation エクスプローラから、マスターメソッドおよびシーケンスメソッドを直接読み込むことができます。[メソッドの更新] ダイアログボックスでは、マスターメソッドとシーケンスメソッドを同期することができます。

17 重要なサポート情報

Software Status Bulletin (SSB) には、**OpenLab ChemStation** の本バージョンおよび以前のバージョンで使用可能な修正プログラムや回避方法について、既知の制限および情報があります。

最新のバージョンについては、以下の当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.agilent.com/cs/library/support/Patches/SSBs/M83xxAA.html>

解決された問題や回避方法を提示してクローズされた問題については、OpenLab ChemStation インストールメディアの `Disk2¥Support¥History¥C.xx.xx` フォルダにある `M83xxAA-SRB.html` という Software Release Bulletin ファイルを参照してください。

<https://www.agilent.com/en/support/agilent-openlab-software-support-lifecycle-policy> の Agilent Software Support Lifecycle Policy で更新スケジュールと各バージョンのステータスを確認することができます。

本書の内容

このドキュメントでは、Agilent クロマトデータシステム製品 OpenLab ChemStation の各マイナー リリースの主な変更点を記載します。

www.agilent.com

© Agilent Technologies, Inc. 2022

エディション 2022年7月

D0013760ja

